

弥生時代のむら その姿

「むら」をかたちづくるものとはなんですか。
たてもの、そこに住む人、そして人々がどのような生活をしていたのか。
そういったことを重ねて見ていくことで、生きた「むら」の
姿を想像することができると思います。

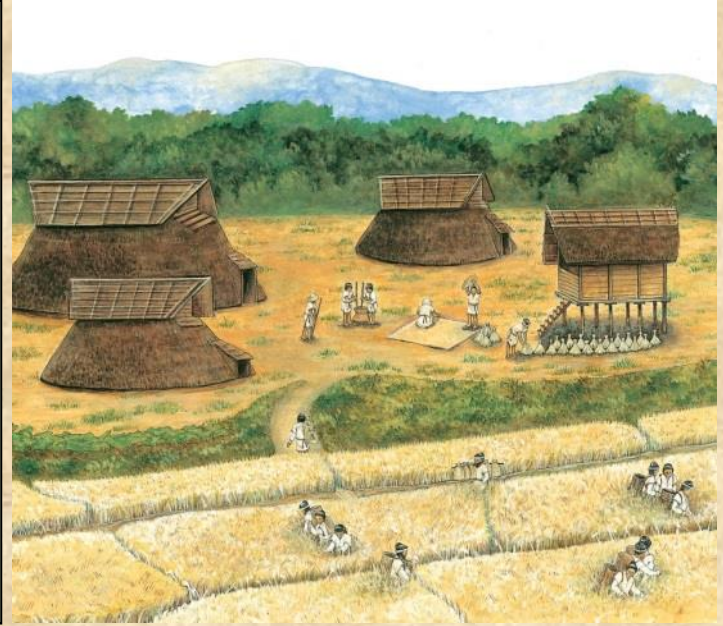
これは、弥生時代の生活を思い描いて
書かれたイラストです。

季節は秋

人々は稲刈りにいそいでいます。

水田稲作が本格的に始まった弥生時代。

収穫されるコメは、現在の日本でも
主食として食べられています。



ひとが生活すると、その痕跡（ゴミなど）が残ります。
その痕跡は、遺跡の発掘調査により「出土品」という形で明らかになります。

ここでは、野々市市内の発掘調査で見つかった弥生時代の出土品を
みていきながら、弥生時代のむらのくらしぶりについて
考えてみたいと思います。

ポイント

弥生時代など、文字ない時代を知るには、
当時使用されたものを見ることで、そのくらしについて
考えていく必要があります。